

2023 年 12 月改訂版			2026 年 4 月改訂版			備考
作成日 2018 年 6 月 1 日 改訂日 2023 年 12 月 1 日			作成日 20XX 年 X 月 1 日 改訂日 2026 年 4 月 1 日			
安全データシート			安全データシート			
1. 化学品及び会社情報			1. 化学品及び会社情報			
化学品の名称（製品名）			化学品の名称（製品名）			
レディーミクストコンクリート			レディーミクストコンクリート			
普通コンクリート 軽量コンクリート			普通コンクリート 軽量コンクリート			
舗装コンクリート 高強度コンクリート			舗装コンクリート 高強度コンクリート			
モルタル			モルタル			
会社名 ○○○○ 株式会社			会社名 ○○○○ 株式会社			
住所 ○○県○○市○○・・・・			住所 ○○県○○市○○・・・・			
担当部門 ○○課 ○○係			担当部門 ○○課 ○○係			
電話番号・・・・・・			電話番号・・・・・・			
FAX 番号・・・・・・			FAX 番号又は電子メールアドレス・・・・・・ ---@---.jp			更新 JIS Z 7253 改正 1 つ選択
緊急連絡電話番号・・・・・・			緊急連絡電話番号・・・・・・			
推奨用途及び使用上の制限			推奨用途及び使用上の制限			
建築及び土木構造物等の材料として用いられる。			建築及び土木構造物等の材料として用いられる。			
2. 危険有害性の要約			2. 危険有害性の要約			
GHS 分類			GHS 分類			
健康有害性：皮膚腐食性 区分 1			健康有害性：皮膚腐食性 区分 1			
眼に対する重篤な損傷性 区分 1			眼に対する重篤な損傷性 区分 1			
			生殖細胞変異原性 区分 2			追加 セメント SDS を反映
			発がん性 区分 1A			追加 セメント SDS を反映
			生殖毒性 区分 1B			SDS に記載の FA を使用する場合 (例：関西電力舞鶴発電所)
GHS ラベル要素			GHS ラベル要素			
絵表示：			絵表示：			追加 セメント SDS の生殖細胞変異原 生並びに発がん性の区分に 応じた絵表示を反映
						
注意喚起語：危険			注意喚起語：危険			
危険有害性情報：H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷			危険有害性情報：H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷			
H318 重篤な眼の損傷			H318 重篤な眼の損傷			
			H341 遺伝性疾患のおそれの疑い			追加 生殖細胞変異原生に対応
			H350 発がんのおそれ			追加 発がん性に対応

<div>注意書き： [安全対策]</div> <div>P264 取扱い後は手などをよく洗うこと。</div> <div>[応急措置]</div> <div>P280 保護手袋，保護衣，保護眼鏡を着用すること。 P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P310 直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</div> <div>[保管]</div> <div>[廃棄]</div> <div>[その他]</div> <div>部外者が触れないような措置をし，硬化する前に使用すること。 P501 国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。 レディーミクストコンクリートの材料にフライアッシュが含まれる場合，フライアッシュ単味のばく露のおそれはないが，フライアッシュには，飲み込むと有害のおそれ，遺伝性疾患のおそれの疑い，発がんのおそれ，生殖能又は胎児への悪影響のおそれ，臓器の障害（呼吸器系），臓器の障害のおそれ（全身毒性，消化器），長期にわたる，または反復暴露による臓器の障害（呼吸器系，免疫系，腎臓），飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれの危険有害性情報があるので注意すること。</div>	<div>注意書き： [安全対策]</div> <div>P203 使用前に全ての安全説明書[最新の土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）]を入手し，読み，従うこと。 P264+P265 取扱い後は手などをよく洗うこと。眼をさわらないこと。</div> <div>[応急措置]</div> <div>P280 保護手袋，保護衣，保護眼鏡を着用すること。 P301+P330+P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 P302+P361+P354 皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。すぐに水で数分間洗うこと。 P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 P316 すぐに救急の医療処置を受けること。 P305+P354+P338 眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</div> <div>[保管]</div> <div>[廃棄]</div> <div>[その他]</div> <div>部外者が触れないような措置をし，硬化する前に使用すること。 P501 国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。 レディーミクストコンクリートの材料にフライアッシュが含まれる場合，フライアッシュ単味のばく露のおそれはないが，フライアッシュには，飲み込むと有害のおそれ，遺伝性疾患のおそれの疑い，発がんのおそれ，生殖能又は胎児への悪影響のおそれ，臓器の障害（呼吸器系），臓器の障害のおそれ（全身毒性，消化器），長期にわたる，または反復暴露による臓器の障害（呼吸器系，免疫系，腎臓），飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれの危険有害性情報があるので注意すること。</div>	<div>追加 セメント SDS の生殖細胞変異原生、発がん性に対応</div> <div>更新 JIS Z 7253 改正 コード変更</div> <div>更新 JIS Z 7253 改正 コード変更</div> <div>更新 JIS Z 7253 改正 コード変更</div> <div>更新 JIS Z 7253 改正 コード変更</div>
--	--	--

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： レディーミクストコンクリート

成分及び含有率：

含有成分	含有率 (wt%)	備 考
ポルトランドセメント※	最大 50	3CaO・SiO ₂ , 2CaO・SiO ₂ , 3CaO・Al ₂ O ₃ 等

注) ※; ポルトランドセメントに、酸化マンガン(CAS番号:1344-43-0)が 1wt%未満含まれる。

CAS 番号及び官報公示整理番号(化審法)：

含有成分	C A S 番号	官報公示整理番号(化審法)
ボルトランドセメント	65997-15-1	—
高炉スラグ※	65996-69-2	—
フライアッシュ※※	68131-74-8	—

注) ※；高炉スラグは、高炉セメント又は混和材として使用した場合の含有成分。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： レディーミクストコンクリート

成分及び含有率：

含有成分	含有率 (wt%)	備 考
ポルトランドセメント	最大 50	$3\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$, $2\text{CaO} \cdot \text{SiO}_2$, $3\text{CaO} \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$ 等
結晶質シリカ※ ¹	2.5 以下	ポルトランドセメントの含有成分
酸化チタン※ ²	0.5 未満	ポルトランドセメントの含有成分
酸化マンガン※ ³	0.5 未満	ポルトランドセメントの含有成分
水酸化カルシウム	—	セメントと水の水和反応により生成
高炉スラグ微粉末	最大 40	
酸化マンガン※ ⁴	0.12	高炉スラグ微粉末の含有成分
フライアッシュ	最大 4	
結晶質シリカ※ ⁵	最大 1.6	フライアッシュに含まれる二酸化けい素の一部
酸化鉄※ ⁶	最大 1.16	技術的な慣習に従い、酸化物の組成式で表記したものであり、実際の存在形態とは異なる可能性がある。
酸化チタン※ ⁷	最大 0.12	技術的な慣習に従い、酸化物の組成式で表記したものであり、実際の存在形態とは異なる可能性がある。

注) ※1 ; ポルトランドセメントに、5wt%以下含まれる。

※2 ; ポルトランドセメントに，1wt%未満含まれる。

※3 ; ポルトランドセメントに，1wt%未満含まれる。

※4；高炉スラグ微粉末に、0.3wt%含まれる。

※5；主にアルミノ・シリケートガラス，Mullite として含まれるが，一部は結晶質シリカとして含まれる。（フライアッシュに，1.0～40wt%含まれる。）

※6；フライアッシュに、1.0～29wt%含まれる。

※7；フライアッシュに、0.3～3.0wt%含まれる。

C A S 番号及び官報公示整理番号(化審法)：

含有成分	C A S 番号	官報公示整理番号(化審法)
ポルトランドセメント	65997-15-1	—
結晶質シリカ	14808-60-7	—
酸化チタン	13463-67-7	—
酸化マンガン	1344-43-0	—
水酸化カルシウム	1305-62-0	1-181

含有成分	C A S 番号	官報公示整理番号(化審法)
高炉スラグ※	65996-69-2	—
酸化マンガン	1344-43-0	—

注) ※；高炉スラグは、高炉セメント又は混和材として使用した場合の含有成分。

セメント SDS、フライアッシュ
SDS、高炉スラグ SDS に記載の数
値を用いた計算結果より更新

追加

追加

追加

追加

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加

追加

追加

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 項目 1 に合わせ削除可

追加 セメント SDS を反映

追加 セメント SDS を反映

追加 セメント SDS を反映

追加 セメント SDS を反映

追加 項目 1 に合わせ削除可

				追加項目 1 に合わせ削除可 追加項目 1 に合わせ削除可 追加項目 1 に合わせ削除可	
※※；フライアッシュは，フライアッシュセメント又は混和材とした場合の含有成分。					
・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質に該当しない。					
4．応急措置					
吸入した場合：	レディーミクストコンクリートを吸入することは考えられないが，体調が優れない場合は，新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。				
皮膚に付着した場合：	速やかに水で洗い流し，必要に応じて医療処置を受ける。				
眼に入った場合：	速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼したのち，医療処置を受ける。				
飲み込んだ場合：	水でよく口の中を洗浄したのち，医療処置を受ける。 被災者の意識が朦朧としている場合，意識がない場合は，無理に吐かせないで，速やかに医療処置を受ける。				
5．火災時の措置					
適切な消火剤：	不燃物質であるので必要としない。				
使ってはならない消火剤：	不燃物質であるので必要としない。				
6．漏出時の措置					
人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置：	回収作業には，保護手袋，保護長靴，保護眼鏡，マスク等の保護具を着用する。				
環境に対する注意事項：	濃厚な洗浄水は中和，希釈処理等により，河川等に直接流出しないように対策をとる。				
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出した場合には，スコップ等により回収し，廃棄するまで土のう袋等で保管する。やむを得ず床面等に残ったものは，固化する前に水で洗浄する。洗浄水は回収し，中和処理等により適切に処理する。 回収物や回収した洗浄水は，「1 3．廃棄上の注意」に従い，廃棄又は排水する。				
7．取扱い及び保管上の注意					
取扱い					
技術的対策：	「8．ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い，必要に応じて				

含有成分	C A S 番号	官報公示整理番号(化審法)
フライアッシュ※	68131-74-8	—
結晶質シリカ	14808-60-7	—
酸化鉄	1309-37-1	—
酸化チタン	13463-67-7	—

注）※；フライアッシュは，フライアッシュセメント又は混和材として使用した場合の含有成分。

・特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（化学物質排出把握管理促進法）の第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質に該当しない。

4．応急措置	
吸入した場合：	レディーミクストコンクリートを吸入することは考えられないが，体調が優れない場合は，新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合：	速やかに水で洗い流し，必要に応じて医療処置を受ける。
眼に入った場合：	速やかに清浄な水で最低 15 分洗眼したのち，医療処置を受ける。
飲み込んだ場合：	水でよく口の中を洗浄したのち，医療処置を受ける。 被災者の意識が朦朧としている場合，意識がない場合は，無理に吐かせないで，速やかに医療処置を受ける。
5．火災時の措置	
適切な消火剤：	不燃物質であるので必要としない。
使ってはならない消火剤：	不燃物質であるので必要としない。
6．漏出時の措置	
人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置：	回収作業には，保護手袋，保護長靴，保護眼鏡，マスク等の保護具を着用する。
環境に対する注意事項：	濃厚な洗浄水は中和，希釈処理等により，河川等に直接流出しないように対策をとる。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出した場合には，スコップ等により回収し，廃棄するまで土のう袋等で保管する。やむを得ず床面等に残ったものは，固化する前に水で洗浄する。洗浄水は回収し，中和処理等により適切に処理する。 回収物や回収した洗浄水は，「1 3．廃棄上の注意」に従い，廃棄又は排水する。
7．取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策：	「8．ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い，必要に応じて

安全取扱注意事項：		て保護具を着用する。 みだりに飛び散らないように、型枠の中で使用すること。 保護手袋，保護衣，保護眼鏡を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。	
接触回避：		アルカリ性を示すため、酸性の製品との接触を避ける。 アルミニウム，アンモニウム塩と反応するので接触を避ける。 凝結が遅延するので糖類との接触を避ける。	
保管		保管	
安全な保管条件：		保管しない。	
安全な容器包装材料：		保管しないため、安全な容器包装材料はない。	
8. ばく露防止及び保護措置			
許容濃度等：		該当しない	
設備対策：		型枠の中で使用する。	
保護具		保護具	
呼吸用保護具：		必要に応じて保護マスクを着用する。	
手の保護具：		手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。	
眼の保護具：		眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。	
皮膚及び身体の保護具：		必要に応じて保護長靴，保護衣等を着用する。	
9. 物理的及び化学的性質			
物理状態：		固体（擬固体，流動体）	
色：		灰色（若干違う場合がある）	
臭い：		データなし	
融点／凝固点：		データなし ←記載省略可	
沸点又は初留点及び沸騰範囲：		データなし	
可燃性：		不燃性である	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：		該当しない	
引火点：		該当しない	
自然発火点：		該当しない	
分解温度：		データなし	
p H：		12～13	
動粘性率：		該当しない	
溶解度：		データなし ←記載省略可	
n -オクタノール／水分配係数（log 値）：		該当しない ←記載省略可	
蒸気圧：		データなし	
密度及び／又は相対密度：		1.5～2.4g/cm ³ （20℃） ←工場の実態とおり	
相対ガス密度：		該当しない	
粒子特性：		0～40mm ←工場の実態とおり	

安全取扱注意事項：		保護具を着用する。 みだりに飛び散らないように、型枠の中で使用すること。 保護手袋，保護衣，保護眼鏡を着用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。	
接触回避：		アルカリ性を示すため、酸性の製品との接触を避ける。 アルミニウム，アンモニウム塩と反応するので接触を避ける。 凝結が遅延するので糖類との接触を避ける。	
保管		保管	
安全な保管条件：		保管しない。	
安全な容器包装材料：		保管しないため、安全な容器包装材料はない。	
8. ばく露防止及び保護措置			
許容濃度等：		該当しない	
設備対策：		型枠の中で使用する。	
保護具		保護具	
呼吸用保護具：		必要に応じて保護マスクを着用する。	
手の保護具：		手に接触する恐れがある場合、 不浸透性 の保護手袋を着用する。	
眼の保護具：		眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。	
皮膚及び身体の保護具：		必要に応じて保護長靴， 不浸透性 の保護衣等を着用する。	
9. 物理的及び化学的性質			
物理状態：		固体（擬固体，流動体）	
色：		灰色（若干違う場合がある）	
臭い：		データなし	
融点／凝固点：		データなし ←記載省略可	
沸点又は初留点及び沸騰範囲：		データなし	
可燃性：		不燃性である	
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：		該当しない	
引火点：		該当しない	
自然発火点：		該当しない	
分解温度：		データなし	
p H：		12～13	
動粘性率：		該当しない	
溶解度：		データなし ←記載省略可	
n -オクタノール／水分配係数（log 値）：		該当しない ←記載省略可	
蒸気圧：		データなし	
密度及び／又は相対密度：		1.5～2.4g/cm ³ （20℃） ←工場の実態とおり	
相対ガス密度：		該当しない	
粒子特性：		0～40mm ←工場の実態とおり	

追加

皮膚等障害化学物質への対応

追加

皮膚等障害化学物質〔労働安全衛生規則第 594 条の 2（令和 6 年 4 月 1 日施行）〕及び特別規則に基づく**不浸透性の保護具等**の使用義務物質（水酸化カルシウム，ポルトランドセメント）への対応

<div>1 0．安定性及び反応性</div> <div><div>反応性：</div><div>化学的安定性：</div><div>危険有害反応可能性：</div></div> <div>時間とともに安定固化する。 時間とともに安定固化する。 酸，アルミニウム，アンモニウム塩と反応する。 強アルカリ性を呈する。</div> <div><div>避けるべき条件：</div><div>混触危険物質：</div><div>危険有害な分解生成物：</div></div> <div>酸，アルミニウム，アンモニウム塩，糖類との接触。 酸，アルミニウム，アンモニウム塩と反応する。 危険有害な分解生成物は含まない。</div>	<div>1 0．安定性及び反応性</div> <div><div>反応性：</div><div>化学的安定性：</div><div>危険有害反応可能性：</div></div> <div>時間とともに安定固化する。 時間とともに安定固化する。 酸，アルミニウム，アンモニウム塩と反応する。 強アルカリ性を呈する。</div> <div><div>避けるべき条件：</div><div>混触危険物質：</div><div>危険有害な分解生成物：</div></div> <div>酸，アルミニウム，アンモニウム塩，糖類との接触。 酸，アルミニウム，アンモニウム塩と反応する。 危険有害な分解生成物は含まない。</div>	
<div>1 1．有害性情報</div> <div><div>急性毒性：</div><div>皮膚腐食性／刺激性：</div></div> <div>データ不足のため分類できない。 強アルカリ性（p H12～13）を呈し，皮膚に対し刺激性があり，皮膚に炎症を起こす可能性がある。</div> <div>眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：</div> <div>強アルカリ性（p H12～13）を呈し，眼刺激性があり，眼の角膜に炎症を起こす可能性がある。</div> <div>呼吸器感作性又は皮膚感作性：</div> <div>極微量のクロム化合物が含まれており，六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。</div> <div><div>生殖細胞変異原性：</div><div>発がん性：</div><div>生殖毒性：</div><div>特定標的臓器毒性（単回ばく露）：</div><div>特定標的臓器毒性（反復ばく露）：</div><div>誤えん有害性：</div></div> <div>データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。</div>	<div>1 1．有害性情報</div> <div><div>急性毒性：</div><div>皮膚腐食性／刺激性：</div></div> <div>データ不足のため分類できない。 強アルカリ性（p H12～13）を呈し，皮膚に対し刺激性があり，皮膚に炎症を起こす可能性がある。</div> <div>眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：</div> <div>強アルカリ性（p H12～13）を呈し，眼刺激性があり，眼の角膜に炎症を起こす可能性がある。</div> <div>呼吸器感作性又は皮膚感作性：</div> <div>極微量のクロム化合物が含まれており，六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。</div> <div><div>生殖細胞変異原性：</div><div>発がん性：</div><div>生殖毒性：</div><div>特定標的臓器毒性（単回ばく露）：</div><div>特定標的臓器毒性（反復ばく露）：</div><div>誤えん有害性：</div></div> <div>データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。</div>	
<div>1 2．環境影響情報</div> <div><div>生態毒性：</div><div>残留性・分解性：</div><div>生体蓄積性：</div><div>土壤中の移動性：</div><div>オゾン層への有害性：</div></div> <div>環境生物に対し有害であるとの情報なし 時間とともに安定固化する。 生体に蓄積しない。 時間とともに安定固化するため，土壤中に移動しない。 時間とともに安定固化するため，大気中に拡散しない。</div>	<div>1 2．環境影響情報</div> <div><div>生態毒性：</div><div>残留性・分解性：</div><div>生体蓄積性：</div><div>土壤中の移動性：</div><div>オゾン層への有害性：</div></div> <div>環境生物に対し有害であるとの情報なし 時間とともに安定固化する。 生体に蓄積しない。 時間とともに安定固化するため，土壤中に移動しない。 時間とともに安定固化するため，大気中に拡散しない。</div>	
<div>1 3．廃棄上の注意</div> <div>化学品（残余廃棄物），当該化学製品が付着している汚染容器及び包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，又はリサイクルに関する情報</div> <div><div>レディーミクスト</div><div>コンクリート：</div></div> <div>固化前は，洗浄し骨材を分離して，回収骨材及びスラッジ水として，固化後は，破碎して，路盤材や再生骨材として利用することが望ましい。また，廃棄する場合は，廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 洗浄水などの排水は，水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。</div>	<div>1 3．廃棄上の注意</div> <div>化学品（残余廃棄物），当該化学製品が付着している汚染容器及び包装の安全で，かつ，環境上望ましい廃棄，又はリサイクルに関する情報</div> <div><div>レディーミクスト</div><div>コンクリート：</div></div> <div>固化前は，洗浄し骨材を分離して，回収骨材（グリーン骨材）及びスラッジ水（グリーン水）として，固化後は，破碎して，路盤材や再生骨材として利用することが望ましい。また，廃棄する場合は，廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。 洗浄水などの排水は，水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。</div>	<div>追加 用語 PR のため</div> <div>追加 用語 PR のため</div>

<div>処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。</div> <div>汚染容器及び包装：汚染容器は、洗浄して洗い流す。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。</div> <div>1 4．輸送上の注意</div> <div>輸送に関する国際規制</div> <div>国連番号：—</div> <div>品名（国連輸送名）：—</div> <div>国連分類：—</div> <div>容器等級：—</div> <div>海洋汚染物質：該当しない</div> <div>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。</div> <div>国内規制がある場合の規制情報</div> <div>海上規制情報：船舶安全法に従う。</div> <div>航空規制情報：航空法に従う。</div> <div>陸上規制情報：消防法、道交法に従う。</div> <div>1 5．適用法令</div> <div>労働安全衛生法：第 5 7 条の 2 通知対象物；マンガン及びその無機化合物</div> <div>化学物質排出把握管理促進法：第一種，第二種指定化学物質に該当しない。</div> <div>毒物及び劇物取締法：該当しない</div> <div>廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制</div>	<div>処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。</div> <div>汚染容器及び包装：汚染容器は、洗浄して洗い流す。洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。</div> <div>1 4．輸送上の注意</div> <div>輸送に関する国際規制</div> <div>国連番号：—</div> <div>品名（国連輸送名）：—</div> <div>国連分類：—</div> <div>容器等級：—</div> <div>海洋汚染物質：該当しない</div> <div>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：漏れ等の防止を確実に行う。周辺環境への流出に留意する。</div> <div>国内規制がある場合の規制情報</div> <div>海上規制情報：船舶安全法に従う。</div> <div>航空規制情報：航空法に従う。</div> <div>陸上規制情報：消防法、道交法に従う。</div> <div>1 5．適用法令</div> <div>労働安全衛生法：第 5 7 条 表示対象物；水酸化カルシウム 結晶質シリカ 酸化鉄 第 5 7 条の 2 通知対象物；水酸化カルシウム マンガン及びその無機化合物 結晶質シリカ 酸化鉄 酸化チタン 労働安全衛生規則：第 5 9 4 の 2 皮膚等障害化学物質 ；水酸化カルシウム ；ポルトランドセメント</div> <div>化学物質排出把握管理促進法：第一種，第二種指定化学物質に該当しない。</div> <div>毒物及び劇物取締法：該当しない</div> <div>廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規制</div>	<div>項目 3 との整合</div> <div>追加 表示対象物として明示</div> <div>追加</div> <div>追加 項目 1 に合わせ削除可</div> <div>追加 含有していることを明示</div> <div>追加</div> <div>追加 項目 1 に合わせ削除可</div> <div>追加</div> <div>追加 皮膚等障害化学物質〔労働安全衛生規則第 594 条の 2（令和 6 年 4 月 1 日施行）〕及び特別規則に基づく不浸透性の保護具等の使用義務物質</div> <div>水酸化カルシウム</div> <div>R6.4.1 より適用</div> <div>ポルトランドセメント</div> <div>R7.7.14 より適用</div>
--	--	--

<p>1 6. その他の情報</p> <p>本データシートは、日本産業規格 JIS Z 7253：2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）」に準じて作成しており，製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として，現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。</p> <p>記載内容は，現時点で入手できた資料，情報，データ等に基づいて作成しましたので，新しい知見により改訂されることがあります。</p> <p>本データシートは，必ずしも製品の安全性を保証するものではなく，弊社が知見を有さない危険性，有害性の可能性がありますので，取扱事業者は，これを参考として，個々の取扱い，用途，用法等の実態に応じた安全対策を実施の上，お取扱い願います。</p>	<p>1 6. その他の情報</p> <p>本データシートは，日本産業規格 JIS Z 7253：2025「GHS に基づく化学品の危険有害性の情報伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）」に準じて作成しており，製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として，現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。</p> <p>記載内容は，現時点で入手できた資料，情報，データ等に基づいて作成しましたので，新しい知見により改訂されることがあります。</p> <p>本データシートは，必ずしも製品の安全性を保証するものではなく，弊社が知見を有さない危険性，有害性の可能性がありますので，取扱事業者は，これを参考として，個々の取扱い，用途，用法等の実態に応じた安全対策を実施の上，お取扱い願います。</p>	<p>更新 改正日：2025 年 12 年 25 日</p>
---	---	--------------------------------

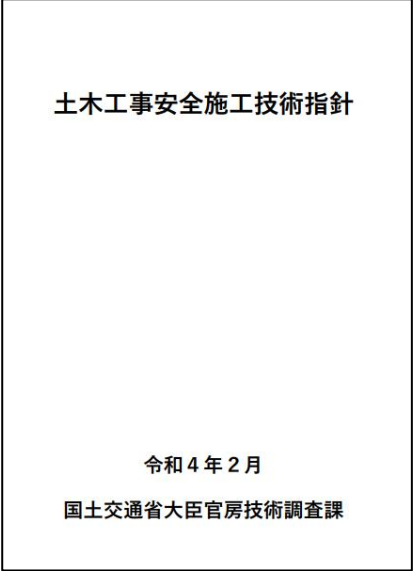
<補足①> 2. 危険有害性の要約

- ・ 注意書き［安全対策］ P203 使用前に**全ての安全説明書**を入手し，読み，従うこと。

生コンクリートの“安全説明書”の入手は難しいと考えられることから、“安全説明書［最新の土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課）］”とした。

[001464734.pdf \(mlit.go.jp\)](#)

土木工事安全施工技術指針 令和４年２月 国土交通省大臣官房技術調査課
第 9 章 コンクリート工事
第 1 節 一般事項
4.コンクリート工事における現場管理
第 1 章 4 節、第 2 章 10 節に準ずること
第 4 節 コンクリート工
3.コンクリート打設作業
第 2 章 安全装置一般
第 10 節 現場管理
5.保護具の着用と使用
作業に携わる者は，作業に適した服装を身につけ，保護具等を携帯し，必要時には必ず使用すること。



第 1 項で、フライアッシュを使用するコンクリートを選択した工場は、“安全説明書（フライアッシュ SDS）”と記載する方法もある。

<補足②> 3. 組成及び成分情報

・成分及び含有率

フライアッシュを使用するコンクリートの成分及び含有率は、フライアッシュ SDS に記載の表示義務及び通知義務の対象となる化学物質（結晶質シリカ・酸化鉄・遊離酸化カルシウム・酸化チタン、酸化マグネシウム^{＊)}、五酸化りん）を、コンクリート 1m³中にフライアッシュが最大 4wt%（FA 置換率 20%）含有していると想定し、表示据切り値または通知据切り値を超過した化学物質（結晶質シリカ・酸化鉄・酸化チタン）を記載した化学物質の最大含有率は、フライアッシュが最大 4wt%含有していると想定して求めた数値を記載

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

＊）労働安全衛生法に基づくラベル表示・SDS交付等の義務対象物質（令和 8 年 4 月 1 日追加分）

通常のコンクリートの成分及び含有率は、セメント SDS に記載の表示義務及び通知義務の対象となる化学物質（結晶質シリカ・酸化鉄・遊離酸化カルシウム・酸化チタン・酸化マンガン・クロム化合物）を、モルタル 1m³中にセメントが最大 50wt%含有していると想定し、表示据切り値または通知据切り値を超過した化学物質（結晶質シリカ・酸化チタン・酸化マンガン）を記載した。

化学物質の最大含有率は、セメントが最大 50wt%含有していると想定して求めた数値を記載。

[illegible]